

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 28 年 12 月 1 日 (2016.12.1)

【公開番号】特開 2016-18183 (P2016-18183A)
 【公開日】平成 28 年 2 月 1 日 (2016.2.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-007
 【出願番号】特願 2014-142985 (P2014-142985)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)
 G 0 2 F 1/1335 (2006.01)
 B 3 2 B 7/02 (2006.01)
 B 3 2 B 23/08 (2006.01)
 B 3 2 B 27/32 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30
 G 0 2 F 1/1335 5 1 0
 B 3 2 B 7/02 1 0 3
 B 3 2 B 23/08
 B 3 2 B 27/32 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 10 月 17 日 (2016.10.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

厚さが $1\ \mu\text{m}$ 以上 $26\ \mu\text{m}$ 以下である偏光フィルムの少なくとも片面に、厚さが $5\ \mu\text{m}$ 以上 $50\ \mu\text{m}$ 以下である第一の保護フィルムが積層された偏光板であって、
 偏光フィルムの厚さに対する第一の保護フィルムの厚さの比が 1.9 より大きく 4.0 以下であり、かつ、

偏光フィルムが、温度 23°C で相対湿度 55% の雰囲気下で 24 時間調湿し、次いでオーブン内で 25°C から $2^\circ\text{C}/\text{分}$ の速度で 85°C まで加熱した後、 $0.3\ \text{mL}$ の 23°C の純水を付着させて 1 分間経過したときに生じる偏光フィルムの透過軸方向におけるひずみ量が $700\ \mu\text{m}$ 以下である偏光フィルムであることを特徴とする偏光板。

【請求項 2】

偏光フィルムの片面に第一の保護フィルムが積層され、他方の面に、第一の保護フィルムと同じ厚さ又は第一の保護フィルムより薄い第二の保護フィルムが積層されている請求項 1 に記載の偏光板。

【請求項 3】

第一及び第二の保護フィルムの少なくとも一方が、波長 $590\ \text{nm}$ における面内レターデーション R_e が $10\ \text{nm}$ 以下で、同波長における厚み方向のレターデーション R_{th} の絶対値が $10\ \text{nm}$ 以下であり、かつ波長 $480\sim 750\ \text{nm}$ における厚み方向のレターデーション R_{th} の絶対値が $15\ \text{nm}$ 以下である請求項 1 又は 2 に記載の偏光板。

【請求項 4】

第一及び第二の保護フィルムは、それぞれ独立してセルロース系樹脂又はポリオレフィン系樹脂から構成される請求項 1～3 のいずれかに記載の偏光板。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の偏光板が、液晶セルの少なくとも片面に積層されている液晶表示装置。